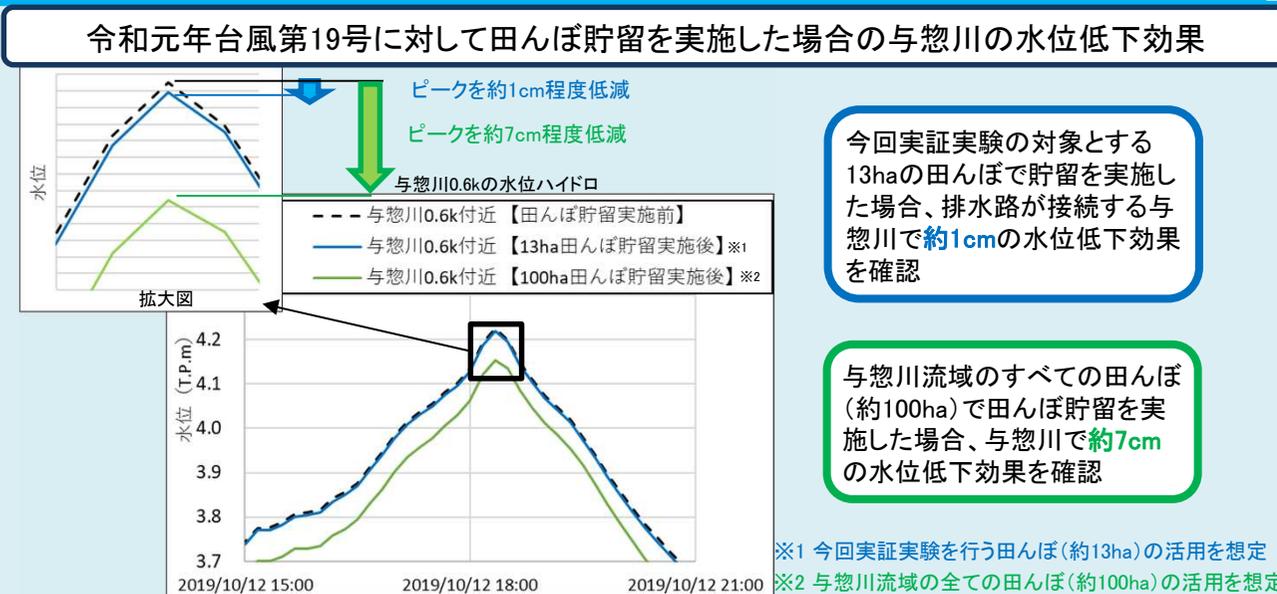
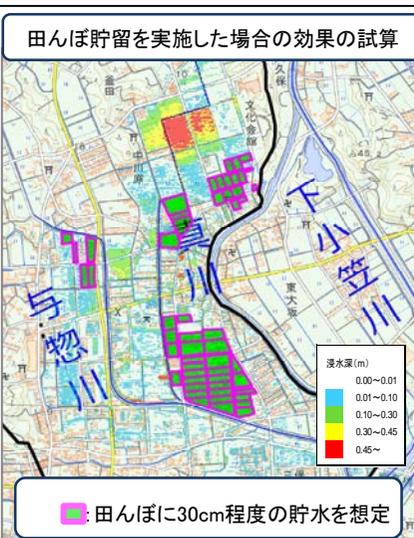


- 台風上陸に備え、田んぼ管理者である「夢ファームおおさか」、「十六水稻団地」のご協力のもと、田んぼ貯留対策の実証実験を開始します。
- 田んぼ貯留とは、田んぼが持っている貯水機能に着目し、大雨の際に田んぼに雨水を一時的に貯留し、時間をかけてゆっくりと排水することで、河川や排水路の急激な水位上昇を防ぎ、洪水被害を軽減する取組の事です。
- 令和元年台風第19号を対象に、今回の実証実験で対象とする田んぼ(約13ha)で田んぼ貯留対策を実施した場合の効果を試算しました。



今回実証実験の対象とする13haの田んぼで貯留を実施した場合、排水路が接続する与惣川で約1cmの水位低下効果を確認

与惣川流域のすべての田んぼ(約100ha)で田んぼ貯留を実施した場合、与惣川で約7cmの水位低下効果を確認